

平成28年度四国地方整備局
コンプライアンス・アドバイザリー委員会の議事概要について

平成28年10月12日に、平成28年度四国地方整備局コンプライアンス・アドバイザリー委員会が開催されましたので、議事概要についてお知らせします。

- 「平成28年度四国地方整備局コンプライアンス・アドバイザリー委員会の議事概要」 別添のとおり

平成28年11月14日
四国地方整備局

【問い合わせ先】
国土交通省 四国地方整備局
TEL 087-851-8061
適正業務管理官 福岡 典彦（内線2121）

平成28年度 四国地方整備局

コンプライアンス・アドバイザリー委員会の議事概要について

標記の委員会について、以下のとおり開催されましたのでお知らせします。

1. 開催日時 平成28年10月12日（水）10時～12時
2. 開催場所 高松サンポート合同庁舎 13階 1307会議室
3. 出席委員 委員長 穴戸 栄徳 香川大学名誉教授
委員 泉川 誉夫 四国新聞社執行役員広告局長
// 藤本 智子 弁護士
// 古川 慎一郎 弁護士
// 三野 靖 香川大学法学部教授

（委員は五十音順）

4. 議事

- （1）平成28年度コンプライアンス推進計画の取組状況の説明及び審議
- （2）委員長による委員会意見の取りまとめ

5. 意見の概要

委員長取りまとめ

- ・平時の取組への切り替えを図るなかで、職員の意識も高まっているという状況が感じられたということについては評価する。今後は、具体的な状況をもとに見直しを検討されたい。
- ・委員会の回数を減らすに際して、平成29年度末頃に、委員会と担当者が現実的な議論ができる場を設けるよう提案する。
- ・監査の効率化を図る工夫をしていただきたい。

各委員の意見概要

《今年度の取組について》

- ・現時点での印象を伺いたい。

〈整備局回答〉

- ・複数年の推進計画になり、平常時の取組に変えて行こうとしているところである。職員の中には、コンプライアンスに対する疲労感もあり、メリハリのある取組が必要と考えている。

《相談件数について》

- ・個人からの相談件数は、昨年度と比較してどうか。

〈整備局回答〉

- ・件数は増えている。日常の業務の中での疑問について、確認の意味合いや予防的な相談が多い。

《コンプライアンス・ミーティングについて》

◆テーマ「発注者支援業務で注意すべきこと」

- ・ルール化や規範の作成についての要望が出ているようだが、その後動いているのか。
- ・ミーティングにとどまらず、知識の偏りをなくすという意味で、このような情報を発信し続けていく工夫が必要である。

〈整備局回答〉

- ・車両管理業務はマニュアル化されているが、発注者支援業務については進んでいない。正しい認識を持ってもらう目的で今回ミーティングテーマにした。

◆テーマ「公務員倫理に関するアンケート結果より」

- ・職員と市民の間で、国家公務員の倫理観の印象に大きな乖離があることは興味深い。1件でも不正が起きれば、全ての努力が無駄になるのが現実である。
- ・ミーティングテーマとしての取りまとめでは、被害者意識が出ている感がある。

《自主学習支援について》

- ・イントラの自主学習コーナーの受講者人数は把握しているのか。

〈整備局回答〉

- ・アクセス数がわかるようであれば、後日お知らせする。

《発注者綱紀保持の取組》

- ・今年度、OB等に対する協力依頼を行ったのか。

〈整備局回答〉

- ・地方公共団体、事業者団体の長宛と同日付で文書を発出している。

《職員アンケートについて》

- ・アンケートの中から、ミーティングの頻度、方法について、職員のコンプライアンスに関する負担軽減のための具体的な判断材料を提出願いたい。

《委員会の運営について》

- ・平成31年3月に1回限りの審議で次期推進計画を策定することを危惧している。6月に中間報告が出てくるのであれば、併せて検討していくのが望ましい。

《内部監査について》

- ・受ける側の負担軽減、総合チェックという観点から、部門別にやっている監査を見直し、効率化を図ってはどうか。

〈整備局回答〉

- ・法律で規定されているので一本化は難しい。内容がダブらないような工夫はしている。